

2024年8月26日

各位

会社名 株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 白川 篤典
(東証スタンダード・コード 2769)
問合せ先 常務取締役 佐々木 敏夫
電話 052-769-1150

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2024年8月26日付で、東海財務局に提出いたしました2024年5月期(第36期)の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではない旨を記載しておりますので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社の決算・財務プロセスにおける、各決算処理の手続き及び正確性を確認する手続きの整備・運用が不十分であったこと等に起因して、当社グループの減損計上額の計上が不足していたことが会計監査人である
爽監査法人と過年度の決算処理を確認する中で判明致しました。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

当連結会計年度末日までに当該内部統制の不備が是正されなかった理由は、再発防止に向けた具体策の策定が当連結年度末までに間に合わず、当連結会計年度の末日後に開示すべき重要な不備を是正するための再発防止策に取り組んだことによります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

以下は、過年度の決算処理を訂正した際に開示した再発防止策(是正方針)です。

- 経営陣による財務報告に係る内部統制の構築意識の再確認及び体制構築
- 重要な会計処理の判断または決定に関し、良質な人材の確保や専門知識の拡充
- 固定資産の減損会計に関するマニュアルの見直し
- 会計処理に係る業務プロセスの見直しと業務の属人化防止による業務品質の向上
- 会計処理方法と現状に差異が生じていないかについての定期的な検証

以下は、有価証券報告書の開示時点での再発防止策の各項目の状況です。

- 内部統制に関するビデオ教材を業務執行取締役が各自視聴の上、毎回の経営会議においてその内容について討議をするという活動を2024年9月から開始します。その活動を通じて業務執行取締役の内部統制の構築意識を再確認し、体制を構築してまいります。
- 2024年8月1日付で経理部組織の人員拡充を行いました。また経理部門長の採用活動も開始しております。加えて会計コンサルティング会社に協力を仰ぐべく現在契約締結に向けた準備を進めております。

3. 2024年5月期の連結財務諸表および個別財務諸表を作成する過程においてマニュアルの再整備を行い、連結財務諸表および個別財務諸表に反映しております。
4. 経理部とは別の部隊(*1 インソーシングセンター部)が経理業務のルーチン業務を実施し、エラーを検出し、報告することで属人化を防ぎ、誤謬の発生を防止するとともに、経理業務に日常的な相互牽制を働かせることを2023年7月から取り組んでおります。しかしながらまだ経理部から移管できていない業務も多く残るため、2024年8月にインソーシングセンター部の人員を拡充し、さらなる業務品質の向上を進めてまいります。
5. 経理部門長に連結会計年度毎に会社の採用する会計方針が現状のビジネスを適切に反映しているかどうかを検証させ、経営会議で確認決定の上、管理本部長に取締役会で報告させてまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

当社は過年度の決算処理を訂正する際に識別した内部統制の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正をすべて2024年5月期(第36期)の連結財務諸表および個別財務諸表に反映しており、影響はありません。

5. 連結財務諸表及び財務諸表の監査報告における監査意見
無限定適正意見であります。

以上